秋田県五城目町

みんなの町議会

目次

- ９月定例会の経過 …… 2
- 決算特別委員会報告 …… 3
- 常任委員会の焦点 …… 4～5
- 一般質問に５名登壇 …… 6～10
- 議員大会・研修会 …… 11
- 請願・陳情・意見書送付 …… 12
- あれ なんとなったべが！ …… 13
- 励ましの人・がんばってます …… 14

No.120

2014年10月1日

消防庁舎建設安全祈願祭（9月26日）

町民センター屋根の葺き替え工事補正予算決まる

9月定例会

議会の経過

9月定例会は9月8日から19日までの12日間の日程で開催された。

一般質問には5名が登壇し少子高齢化対策、大川小学校閉校後の利活用、救急搬送体制の迅速化、米価暴落と町への影響、公共施設更新問題などの質問をした。

提出議案は平成26年度一般会計補正予算案・平成25年度一般会計・特別会計決算認定案・報告など21件。

渡邉町長は行政報告で「五城目小学校建設検討委員会の立ち上げ、町民センターの屋根全面葺き替え工事の補正予算を計上した」ことなどを述べた。

行政報告の後、決算委員7名で決算特別委員会を設置。代表監査委員による監査報告が行われた。各常任委員会の審議・決算特別委員会の審議を行い、最終日は決算特別委員長報告・各常任委員長報告の後、全議案を可決・認定し、請願1件、陳情3件を採択し閉会した。

一般会計補正予算案で採決

町民センター屋根の葺き替え工事を含む補正予算案は教育民生常任委員会で賛成多数で可決された。本会議において反対の動議が出され採決となり賛成多数で可決された。

原案に対する反対の討論

佐藤　成孝　議員

町民センターは町のシンボルである。修繕には賛成だが先達が100年先を考え銅板の屋根にしたものを、20年保障とはいえ鋼板で葺き替えするのは反対である。

原案に対する賛成の討論

石井　光雅　議員

町民センターは築40年になり、今後10年または20年後には大規模改修が必要である。一日も早く修理し、利用すべきである。

◆原案に反対の議員

工藤　卓美　佐藤　成孝
澤田石亀雄

◆原案に賛成の議員

佐々木仁茂　齋藤　晋
石井　光雅　畑澤　洋子
佐藤　慶彦　伊藤　正春
荒川　達雄　佐藤　重信
舘岡　隆　荒川　正己
千田　峯夫　石川　交三

消費税の陳情で採決

秋田県商工団体連合会秋田民主商工会からの「消費税10％への引き上げの中止を求める意見書の提出についての陳情」は、総務常任委員会で全会一致で採択されたが、本会議において反対の動議が出され、賛成多数で採択された。

陳情に反対の討論

畑澤　洋子　議員

膨張する社会保障費の対策として3党合意により消費税10％への引き上げが決まった。低所得者対策・中小企業対策などを決定し、政策を推し進める。よって、陳情に対し反対である。

◆採択に反対の議員

畑澤　洋子　舘岡　隆
澤田石亀雄

◆採択に賛成の議員

佐々木仁茂　齋藤　晋
石井　光雅　佐藤　慶彦
伊藤　正春　荒川　達雄
佐藤　重信　荒川　正己
千田　峯夫　石川　交三
工藤　卓美　佐藤　成孝

補正の主なもの

補正予算は7，889万円を追加し、歳入歳出の予算累計総額を61億2，000万円とする。

補正の主なものは、町民センター屋根全面葺き替え2，343万円・林道専用道開設事業負担金650万円・保育士等待遇改善臨時特例事業費補助金335万円などである。

（齋藤　晋）

決算特別委員会

委員長
伊藤正春

決算特別委員会は9月11日から17日までの4日間の日程で審査を行い、付託になった平成25年度五城目町一般会計歳入歳出決算をはじめ特別会計歳入歳出決算の8議案は全会一致で「認定」した。

実質公債比率は11・1%

25年度一般会計決算
歳入　58億7，125万円
歳出　56億2，974万円
翌年度へ繰り越し
3，062万円
実質収支
2億1，089万円

審査方針

＊町民の意見や要望がどのように反映されているか。
＊行政運営が効率的かつ効果的に執行されているか。改善の余地はないか。
＊将来展望に立った持続可能な財政運営になっているか。
などの視点による審査を行った。

各課の審査の主なもの

消防本部　火災発生4件、救急車の出動件数399件、ドクターヘリ12件、救急救命士は10名在籍。

税務課　厳しい経済状況から滞納繰越、不納欠損が増え町税における収入率は87%。収納率の向上に向け税務相談や口座振替を推進するよう求めた。コンビニ、郵便局、クレジットカードなどで納税できないかなど意見があった。

まちづくり課　路線バスが廃止となって乗り合いタクシーの運行は各路線とも好評である。ふるさと納税は80名からの寄付金があり、報奨金はまちの物産を贈答できないかなど指摘をした。

総務課　湖東厚生病院の4カ町村の負担割合、議場の映像システム、五城目第一中の屋根の修繕費、保険金の支払額を確認した。

農業委員会　農業者年金の加入者7人、受給者185人。
未加入者の加入促進に努力すべきと指摘した。利用権設定241件、売買22件を確認した。

農林振興課　農業体質強化事業で畦畔除去・暗渠を実施しているが、いつまで行う事業か。キイチゴ栽培は需要に見合う生産者数が増えない理由は何か。コメの価格が下落傾向にあり、枝豆の加工や山菜の栽培など複合部分の強化ができないかなど意見があった。

五秋林道災害現場を視察

住民生活課　ごみの減量化は可燃ごみが大幅に減っている。分別収集が浸透されている成果である。消防団については定数から大幅に団員が減少している。若者の人口減少と職業の多様化により、団員の確保は厳しい。今後の対策として分団の再編、待遇の改善、自主防衛組織の設立などを指摘した。

健康福祉課　各種検診で早期がんが11名発見されている。福祉灯油の申請件数、少子化対策事業、社会福祉協議会の補助金の内訳を確認した。

生涯学習課　指定管理されている地区公民館の入館者数にバラツキがあり独自の企画が必要だ。公民館長に年齢制限が必要ではないかと指摘。
友愛館は各種教室やシドケ栽培などようやく軌道に乗ってきたが、経費削減には指定管理に早急に移行すべきでないかと意見があった。

学校教育課　障害などで支援を要する生徒にサポートする職員は11名。すずむしクラブ・若杉クラブの内容と成果を確認。育英資金の償還金に未納があり、早期の回収に努めるよう指摘をした。

特別会計　国民健康保険、後期高齢者、介護保険、障害認定事業の実績と未納の状況を確認。簡易水道は平成28年に水道事業と経営統合の予定。水道事業は給水人口が減り有収率が低下。老朽化した浄水場・排水場の整備が課題である。

決算特別委員会

委員長　伊藤正春
副委員長　齋藤晋
委員　佐々木仁茂
〃　石井光雅
〃　佐藤慶彦
〃　畑澤洋子
〃　千田峯夫
参与　小林正志

こんなことを審議しました

教育民生常任委員会

委員会の焦点

町民センターの屋根修繕工事を実施

町民センターは去る2月2日に雨漏りが発生してから、4階いやさかの間が使用不能となり、町民に多大な迷惑をかけてきた。今回ガルバリウム鋼板（アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板）で工事を実施する。議員からは、この建物は町のシンボルでもあり、銅板で実施すべきであると強い意見も出たが、銅板で工事を実施した場合、工事費が1・7倍となる。また町民センターは築40年たっており、今後大規模な修繕又は改築が予想されることなどから、今回はガルバリウム鋼板で工事を実施する。工事費は2，343万円。12月中には完成の予定である。

雨漏りしている町民センター

こんなことを審議しました

総務常任委員会

委員会の焦点

元気な地域づくり事業 約7割の町内会が具体的取り組み

町内会が主体となって実施している元気な地域づくり事業は8月末現在、71町内会中、ワークショップ開催済みが63町内会、将来ビジョンなどを定めた行動計画策定済みが55町内会である。そのうち補助金の交付決定を受けて既存集会所改修などハード事業を実施しているのが24町内会、元気な村づくり活動としてソフト事業を展開しているのが47町内会である。

本年度前期で約7割の町内会が具体的な取り組みを進めており、後期では、これから取り組みを始める町内会を支援するとともに次年度に向けて成果や課題を整理したい考えだ。

委員からは、意思表示のない町内会に対しては「タブレットを配布するなど新しい取り組みを提案しては」などの意見が出た。

事業が実施される各集会所

職員1名がヨーロッパ研修へ

秋田県市町村振興協会主催による市町村職員海外研修にまちづくり課職員1名が派遣される。町では隔年でこの海外研修に職員を派遣している。

実施期間は10月18日から10月27日までの10日間。訪問先はフランスとフィンランドであり、研修テーマはフランスでは農業（6次産業）と文化の観光利用、フィンランドでは少子化対策と教育である。

町では少子化対策や6次産業化の推進など対策が急務であり、研修を通して職員の専門性向上に期待する。

（佐藤　慶彦）

フランスとフィンランド

改修を待つクリーンセンター

し尿処理施設建設に伴う先進地視察研修

神奈川県葉山町は、自前の公共下水道浄化センターにし尿を直接投入する方式でし尿を処理している。この方式は一般的なし尿処理施設より、事業費が大幅に圧縮できる。

当町においても、公共下水道にし尿を直接投入する方式が可能になると、事業費の削減が見込まれることから、議員と職員で葉山町の施設を視察研修する。

研修後、議会と町がし尿処理計画について協議し、国、県より認可を受けた後、基本設計、環境影響調査、実施設計などを実施し、平成29年度中の供用開始をめざすものである。

消防庁舎建設工事に伴う安全祈願祭実施

7月23日入札、8月1日議会の議決を経て、8月5日に落札者株式会社沢木組と契約締結した消防庁舎本体工事の安全祈願祭が、9月26日挙行された。工期は平成27年6月30日。くれぐれも事故のないよう工事の安全を祈る。

本体工事に着手した消防庁舎

（石井　光雅）

こんなことを審議しました

産業建設常任委員会

委員会の焦点

地下かんがいシステム事業が山内地区で実施される

国の戦略作物生産拡大基盤整備促進事業として、地下かんがいシステム導入支援事業が山内地区で実施されることが決まった。

この事業は、畑作物の栽培に好適な地下水位を調節するために、暗渠排水とモミガラ補助暗渠を施工し、地下水位調節器を設置するものである。

今回実施する山内地区の圃場面積は3ヘクタールで、補助の内訳は、国55％、県27・5％、町10％である。1ヘクタール当りの事業費は280万円となっている。

この事業によってさまざまな畑作物生産への取り組みが期待される。

地下かんがいシステム事業が決まった圃場

町道浦横町線の安全通行が可能に

県道真坂五城目線と町道浦横町線の交差点が拡幅されることになった。

これまで浦横町町内会から、危険な交差点として改良の要望が出されていたもので、県道との交差点町道側の橋が拡幅され、県道からの出入りの危険が解消される。町道浦横町線の側溝改良工事も決まっていることから、安全で安心な通行が可能となる。

拡幅される危険な交差点

（佐々木仁茂）

あなたにかわって聞きました

一般質問

少子高齢化 今後の対策は

町長 国の支援制度を活用し推進したい

齋藤　晋
（21期会）

少子高齢化対策は効果があったのか 今後の対策は

齋藤 **平成52年には、町の人口が5，000人を下回る推計が出ているが、町は今後どのような少子高齢化対策をするのか。**

町長 これまで次の事業を実施した。

少子化対策
・五城目小学校改築事業
・幼保一体化事業
・放課後児童健全育成事業や学習支援事業
・幼児児童生徒学校生活サポート事業
・地域子育て支援事業
・妊婦へのエンゼルタクシー券給付事業
・誕生祝い金支援事業

高齢化対策
・高齢者介護慰労金支給事業
・長寿祝い金支給事業
・日常生活用具給付事業
・間口除雪等支援事業

国の人口減少に対する取り組みを注視し、平成29年度以降の総合発展計画の後期計画を検討する。

また、安倍政権の「地域創生」の取り組みが加速しており、国の支援制度を活用し少子高齢化対策を推進したい。

齋藤 **県内で3番目の高齢化の町だ。国・県に先駆けて、対策を講ずるべきだ。**

運動会で元気いっぱいの子どもたち

成人式は誰の為の式なのか、来賓の紹介は必要か

齋藤 **新成人から「成人式がつまらない」「来賓の挨拶が多い」「来賓紹介が多い」などの話があった。議員の中からも議員などの紹介はいらないのではとの声が有るが、町長の考えはどうか。**

町長 実行委員会を1回しか開催できず、新成人の意見や要望が反映されていない。他町村の事例を参考に実行委員と協議を重ねたい。祝辞や来賓紹介については今後検討したい。

除雪後の確認をすべき

齋藤 **6月定例会でも質問したが、除雪を良くするために、除雪後の確認をすべきだ。**

町長 1時間当たりの作業単価を契約しているので、委託料の支払いに影響が有ることから作業時間の検査はするが除雪後の検査はしていない。降雪、積雪、圧雪の状況確認、情報収集のため、これからも通常パトロールを実施し確認したい。

全町内会長を交えた除雪業務に関する会議は、いつ開催するか

齋藤 **6月の定例会で、実施するとの回答だったが、いつ実施するか。**

町長 業者決定、路線決定したので、10月中に全町内会長に呼びかけ除雪の要望や実情などの話し合いをしたい。

成人式は、誰の為に

その他に
○除雪委託料は、どのように請求され、精査し支払われるのか。
○除雪請求に添付される、タスクメーター記録の、信頼性について。
質問しました。

あなたにかわって聞きました

一般質問

舘岡　隆
（自民クラブ）

大川小廃校後『道の駅』に再活用すべき

舘岡　138年間地域の教育の拠点として役目を果たしてきた。廃校後の校舎の利活用は考えているか。

町長　五城目町廃校施設等、利活用検討委員会を立ち上げ今後、地区町内会会長会からの要望を交え今年度中にまとめる。

大川小学校閉校式 11月16日の準備は

教育長　順調である

舘岡　馬場目小学校の場合と違って期間的に非常に厳しい日程の中、閉校行事は大丈夫か。

教育長　6月に「大川小学校閉校記念事業実行委員会」が設立され、総務部、事業部、記念行事部、式典部の4部分により11月16日の閉校記念式典に向け、準備は順調にすすんでいる。

大川小全景

産直センター、学びの里・学校の駅に

舘岡　一級国道に隣接した五城目町の表玄関であり、交通量も多い。他県の例にもある廃校舎を『道の駅』に活用すべき。大川地域は農業生産意欲も生産額も町内一番である。五城目町の『自然』と、全国学力テスト上位の『教育』を中心に全国に発信する『産直センター』と『学びの里』を併合した施設に活用すべきだ。旧馬場目小の『地域活性化支援センター』に進出した若手企業者』とともに企画検討すべきである。

民間活力を利用し定住促進

マンション アパートを利用

舘岡　今後町営住宅を計画しても財政的にも時間的にも猶予がない。現在民間が経営しているマンション、アパートを長期に借り上げ、町営住宅並に条件を設定し定住促進をはかるべきである。

町長　スピーディーで財政負担の少ない独自プランができるか具体的に検討する。

少子化対策　町の独自の政策

舘岡　藤里町他4自治体が秋田銀行と子育て支援と定住促進について協定を結んだ。他にない、特徴的な政策は考えないか。

町長　県が実施している『お試し移住』体験事業に参加している。創生本部が策定する総合戦略を注視し検討を加える。

町長の視察研修

舘岡　台湾での視察研修の成果は。

町長　今回の経験を今後のまちづくりに活かす。

臨時福祉給付金

舘岡　臨時福祉給付金の支給の実績と未支給者の対応は。

町長　福祉給付金は66％、子育て給付金は84％。引き続き町広報などで周知に努める。

あなたにかわって聞きました

一般質問

救急搬送体制の迅速化にタブレット活用を

町長　コストや効果を検討する

畑澤　洋子
（公明党）

畑澤　他県で、たらい回しにより尊い命が救えなかった事例を重視し、秋田市はリアルタイムで搬送可能な医療機関を検索できるタブレット端末を、県内初で全救急車と消防本部に配備した。運用は県の「災害、救急医療システム」をタブレット端末で検索するもの。医療機関の応需情報、当直医、輪番業務、空きベッド、ドクターヘリ運用状況、当日の搬送実績など検索できる。町はケータイ電話で確認、依頼しているが、搬送時間1分2分の短縮で治療法の選択の巾が広がる。導入を検討してはどうか。

町長　県傷病者搬送、受け入れ実施基準に基づき業務を遂行している。搬送先に苦慮した事はない。過去3年間の出動件数は、年400件で推移している。タブレット端末の導入コスト、費用対効果を十分検討し社会情勢に見あった運用をしていく。

出動件数　年400件

買い物弱者にやさしい町づくりを

畑澤　「買い物弱者」とは、自宅からスーパーなど生鮮食料品店までの直線距離が500m以上離れ、車を持っていない人をいう。農水省が農村部を調査した結果、対応の必要性を感じていても、財政上の理由から対応できない自治体が多いとわかり、国の支援が必要と判断した。農村外でも買い物に苦労する人は多い。乗り合いタクシーは往復1，000円かかり、年金生活者は病院への利用だけで精いっぱいだ。買い物弱者は何人いるか。今後どんな対策を考えているか。

町長　昨年8月の町内会活動等実態調査で、「日常生活の中で現在難儀している事」「将来不安を感じている事」の設問で、買い物を選択した世帯は333世帯で、回答者の11・9％である。将来を見据えた時、買い物支援制度の構築は必要になる。今後検討する。

食品を吟味して買い物する

基幹産業としての林業再生は

畑澤　宮崎県では、集成材をプレカットして海外に販路拡大している。自伐林業の若者も育成し効果をあげている。我が町の林業は衰退していると感じる。町における林業の位置づけは。破材、捨て間伐材でバイオマス発電を行い、林業再生に結びつけられないか。

町長　議員連盟から「林業復活の要望書」が提出されている。県に協力を依頼し協議会を立ち上げ、課題解決のための答申を受けた。五城目町森林整備計画を作成し、将来への方向付けを示した。

マイマイガ対策で街灯のLED化をすすめよう

畑澤　マイマイガは広い地域に大発生し、効果的な駆除方法はない。収まるのを待つしかないのが現状だ。苦情、相談も多かった。湯ノ又大橋の街灯が明るすぎて蛾が集まり、近隣の住民、歩行者が迷惑した。蛾と卵がはりついた姿に地域の誇りともいうべき橋に驚き、必死に清掃する人々。蛾が寄りにくくなる効果がある街灯のLED化、UVカット電球化。湯ノ又大橋の調節機能付きを検討できないか。

町長　街灯のLED化は、電気料と修繕料削減を目的に整備を進めている。今後も計画的に順次進める。調節器の取りつけは現段階では現実的でない。

あなたにかわって聞きました

一般質問

広ケ野の下水道計画の早期解決を

町長　早急に下水道整備を実施したい

石川　交三
（日本共産党）

石川　**広ケ野の一部（高崎地内）で、下水道の計画があるため浄化槽設置もままならず、不便な生活を余儀なくされている例がある。計画区域のため浄化槽の補助対象ともならず、至急の解決策を問う。**

町長　公共下水道の整備は、流域下水道との接続点の近くから進めるため、計画区域の上流部の整備までは相当の期間を要する。下水処理を行なわないことは環境衛生上問題があり、住民の不利益にあたる。国土交通省と厚生労働省の申し合わせで「下水道整備が7年以上かかる区域」は計画区域であっても合併浄化槽の設置に対し補助できる。

指摘された地域はすでに事業認可区域となっており、浄化槽設置補助はできないので、早急に下水道整備を実施する。

石川　**全町的にはどうか。**

町長　計画的に進んでおり、整備完了もあとわずかである。区域単位での整備要望は可能な限り対応しているが、個別の要望には対応できない区域もある。

下水道工事の様子

「ひきこもり」対策を進めよう

石川　**わが町の「ひきこもり」の実態はどうか。藤里町では具体的に支援して成果も出ている。**

町長　全国で約32万世帯とされている。社会福祉協議会が実施している「福祉マップ」作りの調査と併せて「ひきこもり」の状況を把握したい。

藤里町の支援対策を参考にし、相談窓口の設置、関係機関との連携を図るなど体制整備し、交流の場や就労対策など社会復帰に向けた支援策を検討したい。

マイマイガ対策を問う

石川　**大発生の原因と発生場所・発生量は。**

町長　通報のあった発生場所は杉沢・朝市通り・一番町・高千・湯ノ又・新里・落合・西野である。発生メカニズムは解明されておらず、原因も特定できていない。広範囲で大量のため数量的には把握していない。

石川　**他県では防除マニュアルを配布している。**

町長　卵の段階で取り除く方法がある。実施時期は9月から翌年の3月までで、方法を示したマニュアルを配布する。

石川　**薬剤散布や町内会への補助はどうするか。**

町長　薬剤については使用を誤ると人体や農作物に悪影響を及ぼす場合があり、町内会への依頼は考えていない。

町内会の依頼を受けて町がアメシロ防除に準じた形で防除したい。

大発生したマイマイガ

米価暴落と対策は

石川　**暴落の影響はどうか。国による過剰米の処理要望を求めたいがどうか。**

町長　あきた湖東農業協同組合の試算では管内での米価下落は概算金3千円下がりで5億1千万円の影響がでる。町では3千円下がりで2億8千万円と思われる。更なる複合型生産構造への転換が必要だ。過剰米については全国農業協同組合中央会の見解では、加工用などで国の買い入れる仕組みが必要としている。

その他に
○総務省通知を受けた町の臨時・非常勤職員の待遇改善を。
○県後期高齢者医療広域連合のパワハラによる職員自殺問題と町の対応について。
質問しました。

あなたにかわって聞きました

一般質問

事業評価シートの導入を

町長　客観的評価の導入は必要であり検討する

佐藤　慶彦
（会派に所属しない議員）

佐藤　**事業一つ一つが有効であったか、その判断を行うために事業評価シートの導入をすべきである。矛盾や重複した事業があり、財政状態も考慮すると客観的な事業の評価整理が必要である。**

町長　客観的な事業評価や職員コストを含めた費用対効果などによる無駄な事業縮小や廃止の判断には至っておらず、より効率的な行財政運営を行う上で、行政評価システムを構築し、事務事業評価シートによる客観的評価の導入は必要と考えている。

　来年の電算共同化による財務会計システム更新後に再度導入について検討したい。

職員教育の充実を

佐藤　**職員数が大幅に入れ替わる今こそ充実した研修制度を構築すべきである。職員が主に受講している県自治研修所の研修は自己啓発研修で専門性は皆無である。町長や議員は4年の任期があり、長期的視野を持つと町の発展には職員の能力開発、専門性の向上が欠かせない。**

町長　自己啓発的な研修が多いが、県職員との交流による人的ネットワークの形成を図っている。専門研修としては、市町村アカデミー・国際文化アカデミーに昨年までの2名の予算を増額し、今年は4名の受講を予定している。

佐藤　**県外の専門的研修を受講するとともに、県内で専門性の高い研修を受講できるよう県へ要望すべきである。**

専門的研修が行われている国際文化アカデミー

教育の充実を進め、PRを

佐藤　**昨年、県内の学校施設などへ全国から教員・学校関係者約2，300人が視察研修に訪れたが町への来訪者数は。視察研修の受け入れは学校関係者の意識向上、業務改善、政策観光につながりPRが必要だ。**

教育長　昨年の町への視察研修は0名であるが、今年は五城目小に1名、五一中に1名訪れている。五一中では海外からの視察受け入れ用意があることを県にPRしている。

佐藤　**五城目小へのタブレットの導入はいつか。**

教育長　今年度より大川小と五一中へタブレットを導入している。五城目小のパソコン契約は28年度までであり、統合する大川小のタブレットを来年度、五城目小で利用できるよう検討している。

プロジェクターを使った授業

佐藤　**ICT化は今後ますます進む。子供たちに時代にあった教育を受けさせるという点では待ったなしであり、早期に導入すべきである。**

将来を見据えた財政運営を

佐藤　**総合管理計画の策定に要する経費について平成26年度から3年間特別交付税措置される。先進地である神奈川県秦野市へ視察研修を向かわせるか講師派遣をしてもらい職員研修を実施すべきである。**

町長　県の主催でこの後「公共施設等総合管理計画の策定推進に関する説明会」があり、それを受け計画策定の中で秦野市も含め実施について検討したい。

佐藤　**歳入を増やす取り組みは。**

町長　町が保有する財産の活用や処分などで歳入の確保につなげたい。ふるさと納税においても、魅力あるまちづくりを情報発信・展開することにより、寄付の拡大を図りたい。

佐藤　**総務省をはじめとして多様にある競争的補助金を町では獲得していない。町の課題の明確化、職員の専門性向上、プレゼン能力向上を図り、今後挑戦すべきである。**

南秋田郡町村議会議員大会

日　時　平成26年8月5日
場　所　サンルーラル大潟
講　演
●**演題**「代替エネルギーと我社について」
●**講師**（株）アイセス　代表取締役　斉藤　健悦 氏
参加者
佐々木仁茂　齋藤　晋
石井　光雅　佐藤　慶彦
畑澤　洋子　伊藤　正春
佐藤　重信　舘岡　隆
荒川　正巳　千田　峯夫
石川　交三　工藤　卓美
佐藤　成孝　澤田石亀雄
荒川　達雄　小林　正志

3町1村合同の議員大会

秋田県町村議会議員研修会

日　時　平成26年8月8日
場　所　秋田県市町村会館
講　演
●**演題**「これからの町村議会のあり方」
●**講師**　明治大学政治経済学部教授　牛山久仁彦 氏
●**演題**「これからの政局・政治はどう動く」中国・韓国情勢と日本
●**講師**　時事通信社解説委員　田崎　史郎 氏
参加者
佐々木仁茂　齋藤　晋　石井　光雅　佐藤　慶彦
畑澤　洋子　伊藤　正春　佐藤　重信　舘岡　隆
荒川　正巳　千田　峯夫　石川　交三　工藤　卓美
佐藤　成孝　荒川　達雄　小林　正志

議員研修報告

研修名　政策・実務研修「自治体ファイナンス基礎講座～よりよい資金調達・運用をめざして～」
研修先　滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所
研修期間　7月22日～25日
参加議員　佐藤　慶彦

研修名　政策・実務研修「ソーシャルビジネスの推進と自治体の役割」
研修先　滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所
研修期間　7月30日～31日
参加議員　佐藤　慶彦

研修名　市町村議会議員研修「地方財政制度の基本と自治体財政」
研修先　滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所
研修期間　8月20日～22日
参加議員　佐藤　慶彦　佐々木仁茂

グループ討論

全国町村議会広報研修会

日　時　平成26年7月10日～11日
場　所　全国町村会館
講演・講師
●**わかりやすい表現標記**
講師　現代語研究室室長　佐竹　秀雄 氏
●**読まれる議会広報誌**
講師　日本エディター講師　西村　良平 氏
●**写真の見方・考え方**
講師　写真家　神島　美明 氏
参加者　**広報編集委員**
佐々木仁茂、齋藤晋、石井光雅、畑澤洋子、伊藤正春

秋田県町村議会広報研修会

日　時　平成26年8月8日
場　所　ルポールみずほ
講演・講師
●**議会広報の基本と編集技術**
講師　広報コンサルタント　芳野　政明 氏
参加者
佐々木仁茂、齋藤晋、石井光雅、佐藤慶彦、畑澤洋子、伊藤正春、石川交三、小林正志

請願・陳情

請願

採択

◆農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願

農民運動秋田県連合会
委員長　鈴木万喜夫
（紹介議員　石川　交三）

収穫の秋が喜べる農業政策を

陳情

採択

◆軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情

軽度外傷性脳損傷仲間の会
代　表　藤本久美子

採択

◆消費税10％への引き上げの中止を求める陳情

秋田民主商工会
会　長　小玉　正憲

採択

◆ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

宮城県肝臓病校友会
代　表　大江　正義
B型肝炎被害対策東北弁護団
団　長　鹿又　喜治
薬害肝炎訴訟東北弁護団
団　長　増田　祥

意見書送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

農業改革に関する意見書

提案理由

農政改革にあたっては、農業の担い手の軸を家族経営とし、これを支援する諸制度の充実、農業委員会、農協の役割の強化等、生産の振興と食料自給率向上を目指すことを求める。

提出先

内閣総理大臣　安倍　晋三
農林水産大臣　西川　公也

軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める意見書

提案理由

軽度外傷性脳損傷となり労災の障害（補償）年金が受給できるよう、労災認定基準を改正することを求める。

提出先

衆議院議長　伊吹　文明
参議院議長　山崎　正昭
内閣総理大臣　安倍　晋三
総務大臣　高市　早苗

消費税10％への引き上げの中止を求める意見書

提案理由

地域経済を根本から壊す大増税・負担増を到底認めることはできず、消費税10％への引き上げの中止を求める。

提出先

内閣総理大臣　安倍　晋三
総務大臣　高市　早苗
財務大臣　麻生　太郎
厚生労働大臣　塩崎　恭久
文部科学大臣　下村　博文

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書

提案理由

ウイルス性肝硬変・肝がんに係わる医療助成制度を創設することと、身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすることを求める。

提出先

衆議院議長　伊吹　文明
参議院議長　山崎　正昭
内閣総理大臣　安倍　晋三
厚生労働大臣　塩崎　恭久

第2回臨時会 8月1日

消防庁舎建設工事請負契約・西野橋橋梁下部工補修工事請負契約を議決した。

消防署は9月26日に安全祈願祭を実施し、平成27年6月に完成予定である。

議会全員協議会 ▼平成26年8月26日

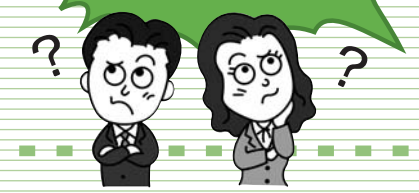
協議案件

（1）し尿処理施設建設計画について

報告案件

（1）町民センターの雨漏り改修について
（2）第29回国民文化祭・あきた2014「全国朝市サミット2014 in 五城目」の開催について
（3）林業専用道「浅見内線」の事業計画（案）について
（4）生薬栽培について

（佐々木仁茂）



シリーズ ついせき 83

なんとなったべが！

平成25年９月定例会一般質問より

問 健康マイレージ事業に取り組もう。

答 健康づくりを行なった町民にポイントや特典を与え、健康づくりの機運を盛り上げていくことは町がめざす健康な町づくりの一環となる。課題を検討する。

現在 町では「健康ごじょうめ21計画」を策定し、平成26年度から町民の健康づくりを推進しているところであり、今後の実施状況を見ながら検討する。

問 福祉事務所の町への設置の検討が必要だ。

答 秋田県で設置している町村はない。設置メリットは住民サービスの向上や権限拡大が想定される。

現在 県内で設置している町村はなく、また、財政上の負担も大きいと考えられる。当面は、福祉事務所と連携を図りながら福祉の向上に努めたい。

問 非核・平和の町宣言を広く周知しよう。

答 役場庁舎への掲示やホームページ掲載を検討する。学校では小中学校の歴史に関係する授業で紹介できるよう各校に周知する。

現在 昨年９月定例会後、「非核平和の町宣言文」を「平和市長会議加盟認定証」と一緒に、役場庁舎１階エレベーターホール脇の展示スペースに掲示している。小・中学校の歴史に関係する授業の中で当町の宣言文を紹介しており、今後も継続して授業の中で紹介していく。

問 キイチゴをブランド化して全国に売り込もう。

答 「６次産業化整備支援事業」の活用を図って支援していく。

現在 研究会では生産拡大と法人化に向けた取組みをしている。６次産業化については検討中である。

問 五城館通りのデコボコ歩道を整備しよう。

答 ケヤキの隆起した根は除根・補修し、鉄平石を剥離してアスファルト舗装に変更したい。

現在 歩道の隆起は経過を観察し、発生を確認のつど除根を実施している。鉄平石の舗装化は道路管理者である地域振興局と協議中で、文書を交わして実施する。

デコボコ歩道の整備を

（石川　交三）

■発行　五城目町議会　■編集　議会広報編集委員会　■〒018―1792 秋田県南秋田郡五城目町西磯ノ目1丁目1―1　TEL 018―852―5411　FAX 852―5402　■印刷　㈱八郎潟印刷

励ましの人

ショートステイ「おもてなし」
介護員　工藤　聡（さとし）さん
（下タ町）

●楽しいことは。

工藤　利用者様に笑顔で「ありがとう」と言われると、すごくうれしいです。

●大変なことは。

工藤　顔色や体調の変化など、具合が悪い人を見逃さないように日々気をつけながら業務にあたっています。

●心に残るエピソードは。

工藤　女性の利用者様が「男性は嫌だ」と介護を拒否されて対応に困りました。上司の助言を得て前向きに努力しています。また、施設を退所する利用者様が、普段は感情を出さないのに、涙を流して帰られた時、心が伝わってきて、またがんばろうと思いました。

●町政や議会へご意見は。

工藤　地域で協力し孤立高齢者を減らして、明るい町にしてほしいです。

●介護の仕事をして何年になりますか。

工藤　「おもてなし」開設と同時に就職しました。まもなく一年です。

●仕事はどうですか。

工藤　体力的には苦労しませんが、仕事の流れに迷います。指導してもらっています。

（取材：畑澤洋子）

がんばってます

五一中２年
男子柔道部
鷲谷　和真（かずま）さん
（谷地中）

五一中柔道部は、現在男子４人、女子１人の５人で活動しています。

団体戦は３人以上で試合ができますが、他のチームは５人のメンバーで試合をしているので五一中は１人足りません。少し不利な状況で試合をしています。だから全員絶対負けられないという気持ちで試合に臨んでいます。

３年生が引退して、８月からは１・２年生だけでの試合が始まりました。まだ、先輩方のような安定した強さはありません。でも、今の状況を言い訳にしないで自信をもって試合できるようにしたいです。

僕は、小学校１年生から柔道を始めました。小学校の頃は練習が嫌になり、何度も道場から逃げ出したことがあります。それでも続けてきたことで６年生の時には全県ベスト８になることができました。

これから始まる郡大会を上位で通過することを目指し県大会に出場できるように練習を頑張ります。指導してくれる先生方や支えてくれる全ての方に感謝の気持ちを忘れずに練習に励んでいきたいと思います。

（取材：佐藤慶彦）

編集後記

実りの秋を迎えたが、農家の心中は穏やかではない。米価が暴落し生産費も賄えないのだ。汗水流した分は全部がサービスとなる。昔から「百姓は生かさず殺さず」と云われてきたが、展望を見いだしにくい時代をどう切り開こうか。

◇

県の広域連合に派遣されていた横手市職員が「パワハラを受けた」と遺書を残して亡くなった。「あのとき　飛び降りようと思ったビルの屋上に今日は夕陽を見に上がる」（日本一短い手紙より）こうした心境に至るような何か手立てはなかったものか・・・。

◇

９月議会は決算議会とも言われる。多種多様な町民の願いが如何に実現されたのか。財政は健全に推移しているかどうか。町の将来像をも見据えた熱い議論が交わされた。

ネット配信で議会中継が視聴できる。議会広報と併せて注視いただければ幸甚である。

石川　交三　記